

所属・資格 社会科学・教授

申請者氏名 久保田 裕之

研究課題		同性パートナーを含むシェア世帯に関する国際比較調査
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究では、同性パートナーを含む新しい共同生活実践について、国内外での「シェア世帯」についてのヒアリング調査に基づいた国際比較を行う。具体的には、これまでも調査を行ってきた国内のシェア世帯（シェアハウス・ルームシェア・コレクティブハウス・ホームシェアなど）への追加調査を行うとともに、同性パートナーを含む国外（カナダ／シンガポール／台湾）におけるシェア世帯に関して、居住者および事業者に対するヒアリング調査を行う。また、これまでの研究成果とあわせて、国内／国外での学会報告を行った。
	研究の結果	具体的には、京都府が行っているホームシェア事業「京都ソリデール」に関するヒアリング（科研費と併せて執行）を行ったほか、同性パートナーで子育てを行っている世帯と、養親子世帯へのヒアリングを行った。また、シンガポール・カナダでの国際学会の機会を利用して、シンガポールの家族研究者と情報交換を行ったほか、カナダのゲイディストリクトの視察などを行うことで、こうした新しい世帯の状況についても情報収集を行った。
	研究の考察・反省	調査の結果から、近年注目を集めているシェア世帯からみえてくるのは、単なる「多様性」の問題に回収されない、パートナーシップの質的差異や、異なるニーズの存在が明らかになった。具体的には、未成熟子や高齢者のケアを担っているのか／いないのか、二人で住んでいるのか／大勢で住んでいるのか、どの程度長期的な見通しで住んでいるのか、といった世帯の間の差異は、「多様性」という政治的スローガンによってむしろ見えにくくなってしまふ。こうした点を踏まえて、新たな世帯の類型や分析軸を提案していく必要があるだろう。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日／場所	研究発表 Sato, MIWA., Hiroyuki KUBOTA, 2018, 'Same-sex Partnership Registrations at the Municipal Level in Japan', oral presentation, RC06 ISA(5/18, Mandarin Orchard Hotel, Singapore).	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 久保田裕之,2018,「日本におけるホームシェア事業と地方自治体による支援」第137回社会政策学会（9/15、北海学園大学）。 久保田裕之,2018,「パートナーシップの多様性と段階制」『都市社会研究』10,せたがや自治政策研究所:59-72.	